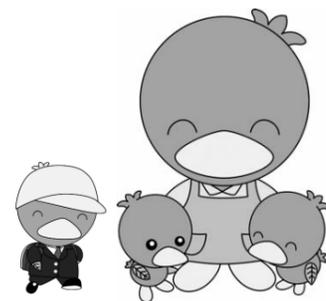


平成30年度 予算 可決



美里MSEMリン



防災倉庫の建設予定地

予算総額 80億9,851万円



防災倉庫(イメージ)

将来を見据えたまちづくりの重点

平成30年第1回美里町議会定例会が、3月1日～20日までの20日間の日程で開催されました。この議会では、平成30年度の一般会計及び特別会計等（7会計）予算のほか、平成29年度一般会計等の補正予算、条例の制定・一部改正等が全員賛成で可決しました。また、議員3名による一般質問が行われました。

平成30年度予算の主な施策

寄居PAスマートIC事業や産業団地整備事業等の取り組みを土台として、さらに町を発展させるために関連予算が計上されました。

主要事業としては、スマートIC出入口やアクセス道路の整備事業として1億9444万円や、「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」の実現に向けた、健康づくり事業関連の予算が計上されました。

新規事業は、中学校教員の業務を支援するためスクール・サポート・スタッフの配置や学習支援員の増員、教育施設等の個別施設ごとの長寿化計画の策定、町内で起業する事業者への起業支援事業補助金、新幹線定期券購入補助金、産直館や加工施設などの多面的機能を持たせた地域活性化施設検討業務、ミムリン健康ポイント事業や健康づくりにつなげる環境整備を実施するための予算が計上されました。

また、特別会計では、国民健康保険特別会計が制度改革の実施に伴い、3億5147万円の減。水道事業会計が産業団地への配水管布設工事の実施に伴い、2億6946万円の増となりました。

歳入

町税16億9386万円、地方交付税7億3154万円、国庫支出金5億1508万円、県支出金3億2103万円、町債3億9258万円などが主な財源です。

歳入の前年度対比の状況は、町税が2918万円（法人町民税が1980万円、固定資産税が951万円）の増、また、国庫支出金が6364万円、町債が9158万円の増となっています。

歳出

総務費7億1666万円、民生費14億2180万円、土木費6億5055万円、教育費4億102万円が主なものです。

歳出の前年度対比の主な状況は、生活道路の拡幅や寄居PAスマートIC事業費等が増加したことにより、土木費が1億7608万円の増、また、消防自動車購入や防災倉庫建設工事が増加したことにより、消防費が1億5763万円の増となっています。

平成30年度 会計別当初予算額

() 内は対前年度比

一般会計	46億6,587万8千円	(107.6%)
特別会計	27億4,412万6千円	(88.7%)
国民健康保険	13億1,327万1千円	(78.9%)
住宅資金貸付事業	3千円	(0.8%)
下水道事業	5,031万3千円	(87.4%)
農業集落排水処理事業	2億6,916万5千円	(100.1%)
介護保険	9億9,379万7千円	(99.8%)
後期高齢者医療	1億1,757万7千円	(111.8%)
水道事業会計	6億8,851万2千円	(164.3%)
総合計	80億9,851万6千円	(103.2%)



寄居方面からスマートICへのアクセス道路

一方、民生費の国民健康保険特別会計繰出金が6995万3千円の減、社会教育費の総合公園管理費で樹木伐採・整地等の工事が730万円の減、また、美里町観光協会主催の美里夏まつり花火大会の廃止の方向により、観光協会補助金が410万円の減となっています。

産業団地への配水管布設工事は、全て埼玉県からの負担金で実施されるよ。



美里MSEMリン

平成30年度の一般会計予算総額は前年度比7.6%、3億2,889万2千円の増となりました。



美里MSEMリン